

「JATA経営フォーラム2020」の見どころ



パソナの湯田健一郎氏

分科会D「テレワーク導入・活用ポイント解説セミナー」
経営改革や生産性向上などに有効な手

分科会Dでは、働き方改革の一つとして注目される「テレワーク」のセミナーが予定されています。講師を務めるパソナの湯田健一郎氏（リンクワークスタイル推進統括／東京テレワーク推進センター事業責任者）にそのポイントを解説していただきました。

企業・社員や社会にもメリット テレワークは育児や介護などの事情がある社員だけの制度ではなく、全社員が活用でき、業務効率向上やワークライフバランス改善のきっかけ、離職防止にもつながります。テレワークを活用する

ことで次のような効果が期待され、企業競争力向上の有効な一手として考えられるようになつています。

○企業のメリット＝経営改革、生産性向上、優秀な人材の確保（採用・離職防止）、事業継続性の確保、グローバル対応

- 社員のメリット② ライフ・ワークバランス実現、通勤時間削減、就業環境向上、育児・介護中の仕事の継続
- 社会のメリット② 労働力人口減少対策、雇用創出、環境負荷の軽減

卷之二

しかし、旅行業においては、テレワークがまだ十分に普及しておらず、「負の先入観」から二の足を踏んでいる企業も多くあります。新しい働き方としてのテレワーク導入を考えると難しいようく感じますが、部分導入から始めると

『JATA経営フォーラム2020・開催概要』

行商品とは！（仮）

(B) デジタルネイティブ時代の新たな旅行会社のカタチ

〔例〕

から学ぶユニバーサルツーリズム(反)

(D)「知らぬは損! 事業力&収益力

益力と従業員満足度を高める旅行事業者のためのテ

レワーク導入・活用ポイント
解説セミナー||講師…湯

田健一郎氏

※V E E 中 級 も 予 定

特別講演「令和に憶う旅」¹¹⁾ 中西進氏(高志の国文学館館長、元

1 · 3 · 1 · 4 開會標語

敷居は低くなります。すでに使つ
のです。

導入の不安を取り払い、有益

利用し、便利な無料のツールを組み合わせることでもテレワークが行えます。既存ツールをうまく活用できていない例も実は多くある

な補助金や支援制度を知り、テレワークを活用して各社の競争力を向上を実現するきっかけの場としていただけれどと思われます。